

令和6年1月 第28号

編集発行

篠路茨戸地区社会福祉協議会
北区篠路4条7丁目2-40
(篠路出張所内)

Tel 775-6761

しのろばらと社協 だより



北区まちづくり
キャラクタ
“ぼっぴい”

新たな年(令和6年)を迎えるにあたり、皆様のご多幸をお祈りいたします
年頭のご挨拶

篠路茨戸地区社会福祉協議会 会長 白戸 黎一



新年あけましておめでとうございます。

平素から篠路茨戸地区社会福祉協議会の活動に対しご支援を賜り厚く御礼申し上げます。令和5年の事業を振り返りますと、長く続いた新型コロナウィルスも一段落した感があったものの、諸行事の実施に於いては感染に十分配慮し開催してまいりました。政策面で福祉のまち推進委員会の統括部会・福祉部会・児童母子部会等から意見を汲み上げ、組織の活性化、醸成へと推進実践に努めております。事業面では9月の連合町内会との共催「赤い羽根共同募金」総会、また民生・児童委員協議会、行政、地域包括介護センター等の協力を得て「見守り地域ケア会議」を開催、11月にはしのろばらと地域の福祉のつどい「中学生によるボランティア体験と地域ボランティア活動の発表会」を実施しました。12月には「こども餅つきふれあい交流会」を実施、地域のこどもたちの餅つき・篠路太鼓の体験やクリスマス演奏やサンタからのプレゼント等、大喜びで盛況に終わることが出来ました。地域の関係団体と幅広い全員参加の組織的活動の醸成に向け成果を挙げることが出来ました。また連合町内会をはじめ単位町内会を通じ地域見守り活動を行っておりますが組織の会長・役員の交代等もあり活動実施の弱体化傾向にあります。新しき年を迎えるにあたり安心して住みよい街づくりにむけて関係団体のご協力をお願い申しあげます。なお、新年早々の能登半島地震により多くの住民が罹災し、亡くなられています。心よりお見舞いと哀悼の意を表します

篠路茨戸地区「地域ケア会議」開催



令和5年9月21日、篠路コミュニティセンターホールで篠路茨戸地区福祉協議会(統括部会)による「地域の見守り活動」、必要性と課題点を北区保健福祉課保健支援係 山下様、北区社会福祉協議会 福本様の基調講演後グループ毎に意見交換を行いました。

高齢化や地域課題の複雑化・多様化により、支援を必要とする人が急増。「気にする・気にかける」ことで問題の早期発見・解決が可能になる。見守り活動は多様な方法があり、まずは出来るところから、歩いて行ける範囲で活動することが大事だということです。

活動報告では、60・70・80歳の誕生にプレゼントを町内会や、敬老日にお菓子を配布する町内会回覧板時に声掛けする等、町内会や自治会で多様な対応を行っている報告がありました。



一方で土曜日や日曜日の包括支援センターとの連絡手段や、民生委員との情報共有ができるていないなどの意見もありました。

しのろばらと福祉のつどい



11月25日（土）篠路コミュニティセンターにて開催、篠路中学校、篠路西中学校の生徒会による地域福祉ボランティア活動報告と札幌豊明高等支援学校の日々の学業と職業訓練の紹介を小山校長先生から、地域のボランティア団体、

「篠路チョボラ会・篠路チョコットお助けたい」の地域や高齢者や単身高齢者の困り事を支援する活動を奥山事務局長より報告がありました。

今回の福祉のつどい活動報告では中学校生徒ばかりではなく地域の福祉活動を行っているボランティア団体まで拡大した発表会といたしました。地域の多くの人達にご清聴頂き感謝いたします。



こども餅つきふれあい交流会



12月16日（土）篠路コミュニティセンターホールにて、子ども餅つき交流会を開催しました。コロナ感染防止により、募集人員を100名とし事前参加申込による公募といたしました。約90名の子どもと父母の参加申し込みがあり、餅つき体験や篠路太鼓の体験、クリスマス音楽などで楽しみました。最後に子どもたちにサンタクロースよりお菓子のプレゼントをお渡しいたしました

昨年より子どもの募集人数をふやし。多くの子どもに達に楽しんでもらいました。



早朝から本交流会にご協力頂きました各団体組織の皆様には厚くお礼申し上げます。

本年も篠路茨戸地区社会福祉協議会は地域のより良い福祉を目指しスタッフ一同頑張ります。
ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

各種イベントによる共同募金活動

篠路文化祭

篠路文化団体芸能の集い

篠路ふれあい交流会

篠路ふくしのつどい



皆様の共同募金支援に対し厚く御礼申し上げます



篠路茨戸社会福祉協議会のお問い合わせ、毎週月曜日 9:00～12:00
電話 011-775-6761